

プレスリリース
報道関係者各位

2019年11月12日
株式会社シーフードレガシー

東京サステナブルシーフード・シンポジウム2019を開催しました 参加者約1,000人、スピーカー100人が考えた水産業の未来

株式会社シーフードレガシー（代表取締役社長：花岡和佳男、所在地：東京都中央区）は日経ESGと2019年11月7日（木）～8日（金）に、アジア最大級のサステナブル・シーフードに特化したシンポジウム「東京サステナブルシーフード・シンポジウム（TSSS）2019」を開催しました。2日間述べおよそ1000人、スピーカーは100人と沢山の方にご参加、ご登壇いただきました。

本シンポジウムは、近年、海洋資源の減少や海洋プラスチック問題が世界的な課題になる中、豊かな魚食文化や海洋生態系を未来に残すべく、水産資源を持続可能に生産・消費する「サステナブル・シーフード」の活動を知り、広げていくための象徴となるイベントです。行政、企業、NGO、研究機関など国内外で第一線で活躍するスピーカーから学ぶだけでなく、参加者同士で交流しムーブメントを作るための場として今年で5回目の開催を迎えました。

今年のテーマは「いよいよ近づく2020年、持続可能な魚から考えるSDGs・ESG経営」。ビジネスと海洋環境のサステナビリティを両立させるための具体的なヒントを、大きく3つのテーマに分けて考察、議論しました。

1. サプライチェーンに潜む人権侵害やIUU（違法・無報告・無規制）漁業などのリスクから日本の水産業や水産市場を守る
2. サステナブル・シーフードをSDGsやESG経営と結びつけて企業の新たな価値とする
3. テクノロジーや認証が漁業、養殖業を持続可能な方向へシフトする原動力となっている

さらにこれらのサステナブル・シーフードについての取り組みは企業にとってSDGs・ESG経営を進める柱の1つになり、ESG投資家も注目、評価し始めている国際的な潮流も紹介されました。

今年は日本のサステナブルシーフード・ムーブメントの活性化に貢献した活動を表彰する第1回「ジャパン・サステナブルシーフード・チャンピオン・アワード」も初開催。個人や1つの組織による取り組みである「イニシアチブ」部門、複数組織による「コラボレーション」部門それぞれからファイナリストとして4プロジェクト、その中から3つのチャンピオンが選ばれました。

<イニシアチブ部門>

・『日本初 社員食堂へのサステナブル・シーフードの継続導入』拡大推進プロジェクト～社員食堂から、消費行動を変革し、SDGs達成



